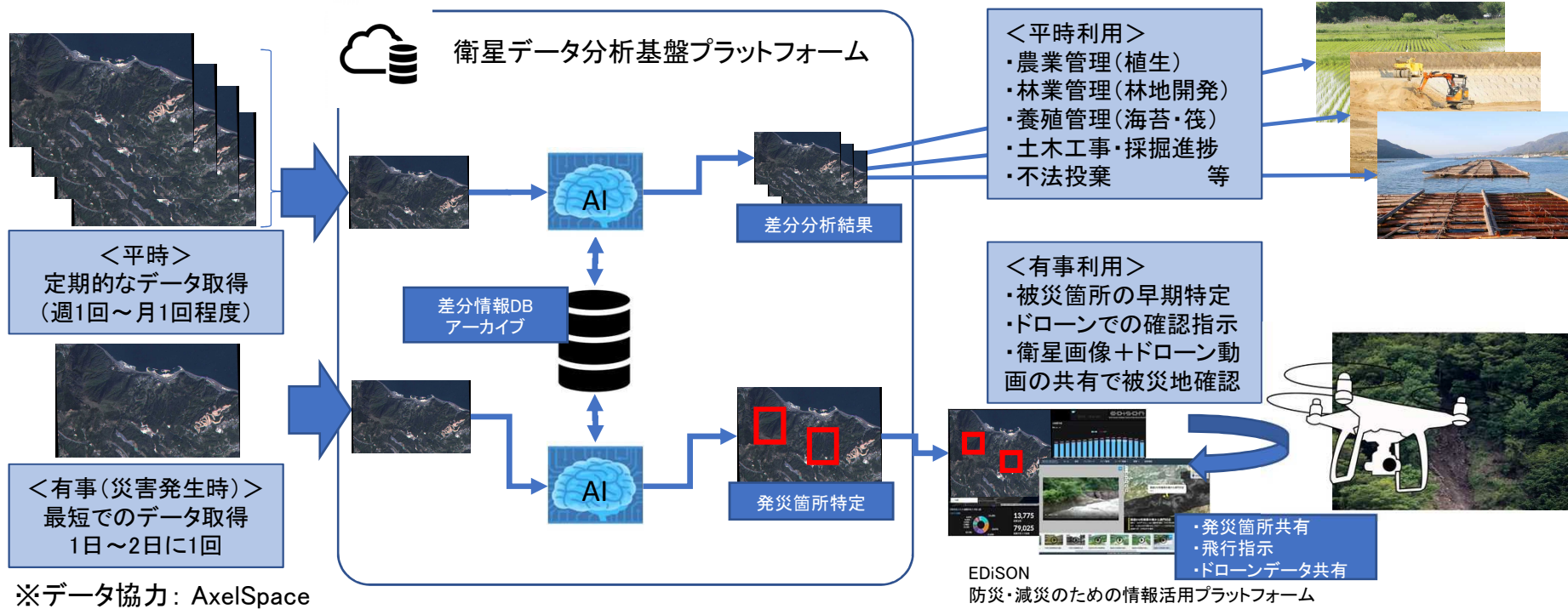


- ・災害の激甚化により、被害が広範囲に及んでいる。被害の状況把握までに数日かかることも有る。また、発災時の巡回作業は危険な作業であり課題となっている。
- ・有事(災害発生等)だけでなく、平時においても、地域の監視見回りに関わる人的負荷、エネルギー負荷、人員不足での巡回頻度の縮小は経済的・品質的に今後無視できない状況になっている。

- ・衛星データを定期的に取り得し時系列の衛星データを分析。変化を可視化(特徴点抽出・NDVI)。
- ・災害時の衛星データと定期的に取り得している衛星データを比較。発災箇所の特特定を支援する。
- ・衛星データの分析基盤とアーカイブをプラットフォーム化し、衛星データの平時での活用基盤とする。



<p>事業実施主体 (コンソーシアム)構成員</p>	<p>(株) ザイナス (大分市)、SAPジャパン (東京都)、 大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター (CERD)</p>
--------------------------------	--